

専門職大学院

国際会計研究科 アカウントینگ スクール

国際会計研究科(CGSA: Chuo Graduate School of Accounting)は、2002(平成14)年の開校当初から主に社会人をターゲットに国際会計とファイナンスを中心に据えたMBAプログラムを編成し、刻々と変化する世界のビジネス環境に対応しリードできる実践的な知識を教授しています。

現在、わが国では国際財務報告基準(IFRS)の導入に向けて、様々な角度から検討されて

います。IFRS導入のインパクトは、企業会計や企業財務の分野にとどまらず、ビジネスのあり方そのものを根底から変えることが予想されます。この大きな変動にいち早く対応した研究と教育を行うために、国際会計研究科は2010(平成22)年度よりカリキュラムを次世代型へと一新します。どうぞご期待ください。

■ CGSAセミナー2009を開催

国際会計研究科は、会計、ファイナンス、マネジメント等の専門領域についての理論、知識、経験を兼ね備えた「プロフェッショナル」を育成していますが、その教育研究成果の社会還元の一環として、毎年度、セミナーを開催しています。2009(平成21)年度は、日本でも導入に向けて検討が始まった国際財務報告基準(IFRS)について、6月、8月及び10月の3回にわたって取り上げました。

*詳しくは、国際会計研究科 Web サイトに掲載しています(www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/cgsa)。「CGSA」でも検索が可能です。



講師にグレッグ デニス氏を迎えた第2回CGSAセミナー会場

第1回 (2009年6月13日開催)

— 国際会計に強いビジネスパーソンとして活躍するために —

- 講師：藤沼 亜起 氏 (中央大学大学院戦略経営研究科教授、国際会計基準委員会財団(IASCF)評議員、前日本公認会計士協会(JICPA)会長、元国際会計士連盟(IFAC)会長)
- 講師：田近 耕次 氏 (元中央大学大学院国際会計研究科教授、同研究科アドバイザー・ボード議長、前IASCF評議員)
- 講師：山崎 彰三 氏 (JICPA 副会長、元アジア太平洋会計士連盟(CAPA)会長)

第2回 (2009年8月2日開催)

— Convergence or Adoption: What Does It Mean for IFRS Introduction into Japan? —

- 講師：グレッグ デニス 氏 (オーストラリア会計士協会(National Institute of Accountants Australia)会長)
- コメンテーター：加藤 厚 氏 (企業会計基準委員会委員)
- コメンテーター：木下 俊男 氏 (日本公認会計士協会常務理事)

第3回 (2009年10月31日開催)

— 原則主義のIFRSを我が国に導入する際の実務上の課題 —

- 講師：加藤 厚 氏 (企業会計基準委員会委員)
- パネリスト：熊谷 五郎 氏 (みずほ証券株式会社、日本証券アナリスト協会 企業会計研究会委員)
- パネリスト：服部 進睦 氏 (住友商事株式会社 主計部副部長)
- パネリスト：長谷川 茂男 氏 (有限責任会社監査法人トーマツ パートナー)